

東堂陽一 議会便り 第14号(2-7)

平成19年 1月 1日発行

今号の内容

1. 12月定例会
2. ごみ減量大作戦ほか
3. 議席より
4. 私の一般質問(12月)
5. 写真で見る最近の話題
6. 勝手に選んだ重大ニュース

12月定例会が開催されました。

11月29日から12月22日にわたって開催された定例議会の概要をお知らせします。

(議案審議)

一般会計補正予算案を始めとして、5件の補正予算議案の審議を行いました。その他、条例案19件その他議案8件、計32件の審議を行いました。

議案第126号

掛川市副市長定数条例の制定について

地方自治法の一部改正で助役、収入役は廃止となり、代わりに副市長を置くことになりました。市長は、当面1人を配置する考えを明らかにしています。

(政策議会)

掛川市議会では毎年12月議会の中で、フリートーキングで重要政策課題を議論する場を設けています。政策議会と呼んでいますが、今年選ばれたテーマは、下の表の様です。

総務委員会	現在の財政状況と今後の展望について 行政改革について 各種団体への補助金、助成金について
経済建設委員会	掛川市の農業を考える 区画整理事業の今後のあり方について 市街地活性化対策と観光行政について
文教厚生委員会	市立総合病院の将来について 学校のあり方について 小中学校生徒を持つ親への教育について

謹賀新年



現在の市議会は、増え続ける課題に対して政策議論の場が不足しており、このような良い企画をもっと充実させるべきでしょう。

桜木地内の道路事情を視察

1. 地区総代会の後で

10月26日に行なわれた桜木地区市民総代会では、地区の主要幹線道路の整備見通しがテーマとなりました。広い地域の中にたくさんの道路があり、大変な事業量であることを再認識させられました。これを受けて11月20日に市長、区長さん、市議員共同で道路を中心に現地視察を行ないました。



長沢団地付近

2. 地域教育懇談会の後で

11月10日に桜木小学校で地域教育懇談会がありました。参加していた父兄の皆さんからは、いじめや不審者そして通学路の安全に関する心配が多く出されました。

市長、市の担当者、関係区長さんと私で特に危険と思われる箇所を見て回り、対策をお願いいたしました。



桜木小学校西交差点

ごみ減量大作戦

掛川市では11月からごみ減量大作戦を展開しています。大まかに言うと平成23年度末までにごみ排出量を10%減量するというものです。現在の1人1日当たりのごみ排出量は759gでこれを682gまで減らす。1人1日77gの減量が必要です。

ごみを減らすのに理由はありませんが、今回は大事な理由があります。

平成20年4月から、環境資源ギャラリーにおいて大東および大須賀地区のごみを処理する手続きが進められています。最近では僅かではあるがごみが増加していることもあり、このままでは処理能力をオーバーしかねません。全市300ヶ所で説明会を行ないます。目標達成にご協力願います。

平成17年度1人1日当たり実績

市名	ごみ排出量(g)
上位5市 菊川市	630
掛川市	759
磐田市	827
焼津市	881
袋井市	885
下位5市 三島市	1,132
静岡市	1,170
下田市	1,535
伊東市	1,596
熱海市	1,966
県内平均	1,044

1. 国民保護訓練

掛川市が今年の2月に、外国からの武力攻撃や大規模テロなど有事の際に、住民の非難、安全を図る訓練の実施を計画していることが、先の本会議で明らかになりました。

その内容は、市長によれば、「海岸に不審船が到着し、テロリストと思われる不審者が岸壁付近に潜んでいるとの想定。①同報無線や広報車で付近住民を避難誘導する訓練②武力攻撃への対応のほか、市役所と現地对策本部を設置して情報収集や国・県との連携訓練を行なう。」というものです。

2. 防犯パトロールカー増車？

現在14台ある防犯パトロールカーを20台に増車したいという市長提案がありました。防犯パトカー導入以来、犯罪件数が減少傾向であり、更に効果を上げるためだということでした。しかし犯罪減少と防犯パトカーの因果関係が不明確である(別の要因も考えられる)、市の職員もこの為に時間を取ら

3. 鵜それとも鼠

11月議会の一般質問のなかで、「市長は鵜を操る鵜匠であるべきだが、自分自身が鵜になってしまっている。」あるいは別の人には「こま鼠のように走り回りすぎる。もっと高いところから見て全体を考えて行動するべきだ。」という発言がありました。市長に対する言葉としては若干問題があるものの、言い得て妙だと思いました。市長は理念と長期ビジョンを持って市政に専心していただきたいと思います。

国が定めた国民保護法に基づくものですが、掛川市では現在これを受けて保護計画案を策定中であり、議会承認は来年の3月と予想されています。それに先立つ先行実施であり、掛川市単独で急いで実施する必要性があるのか、疑問が残ります。

なお訓練地域は限定的であり、関係者には説明会や研修会を行なう予定だそうです。



れる、一見良いことのようにだが市が警察の様な仕事まですべきかどうかということ、防犯のためにすべきことが他にある、などの理由で私は基本的には増車には反対でした。

委員会でも同様の意見が多数を占め、計画は撤回となりました。



今回の私の一般質問です。

(質問のねらい)

行財政改革に関し、事務事業および補助金の見直しについて尋ねました。思い切った見直しが必要だが、内部の検討ではなかなか前進しないのではないかとこの観点から、外部評価の導入などについて質問致しました。また補助金の制度で公益性、公平性、透明性が保たれているかとともに、これからの補助金のあり方や、執行された補助金に対する疑問点、情報公開の必要性などについても質問致しました。



(通告要旨:一部省略してあります)

1. 事務事業の見直しについて
 - (2) 外部評価の仕組みの検討状況について伺う
 - (3) 「事業仕分け」を試行してみてはどうか
2. 補助金について
 - (1) 補助金制度について
 - ② 交付基準、交付金額、補助対象経費の種類は明確になっているか
 - ③ 外部評価を取り入れ、審査を行なう必要があると考えるがいかがか
 - ④ 交付結果や事業の成果を市民へ公開する必要があると思うがいかがか
 - (2) 現行の補助金について
 - ① 平成17年度決算において、多くの補助金で不用額が発生した理由は、構造的原因があったのか
 - ③ 平成21年度までに20%カットの具体的手法について伺う
3. 青少年健全育成会について
 - (1) 組織や活動をより一層子どもや親と向き合ったものとするべきではないか

(市長の答弁)

事業仕分けについては検討してみたい。補助金については見直しの必要性については一致しながらも、具体的手法では噛み合いませんでした。情報公開はホームページの活用が提案がありました。後に市長から、補助金の種類や金額を記した一覧表を、来年度から予算案と同時に提出するという提案がありました。私としては、これを良く精査して検討を加えるということで対応していきたいと思います。

東堂陽一
議会便り 第14号(2-7)

平成19年 1月 1日発行

今号の内容

1. 12月定例会
2. ごみ減量大作戦ほか
3. 議席より
4. 私の一般質問(12月)
5. 写真で見る最近の話題
6. 勝手に選んだ重大ニュース

写真でみる最近の話題



教育委員会研究校発表会(横須賀小、11月16日)



地域通貨シンポジウム(11月12日)



掛川農業祭(もち投げ、11月23日)



全日本トランポリントーナメント(サンリーナ、11月25日)



地域防災訓練(遊家・家代、12月3日)



5 地域防災訓練(森平、12月3日)

勝手に選んだ18年の重大ニュース

昨年の市政上の出来事を振り返り、選んで見ました。
皆さんの順番付けはいかかでしょうか

1. 大河ドラマ「功名が辻」放送、ドラマ館オープン。好評のうちに終わる。



閉会式の模様(12月17日)。
ドラマ館の入場者数は約30万7,000人。
テレビの平均視聴率は20.9%で4年ぶりの20%越え。

2. 普通交付税の不交付団体となる。
3. 工業出荷額1兆4,469億円で県下第4位に。(①浜松市②磐田市③静岡市)
4. 長谷土地区画整理竣工、東名掛川IC周辺土地区画整理および上屋敷・西郷土地区画整理換地処分。
5. 桜木幼稚園、上内田幼稚園、つくし保育園の3園が閉園。掛川こども園と子育てセンターひだまりが開園。(幼保一元化の推進)



現在の桜木幼稚園跡地の様子。
まもなく解体され、暫定整備がされます。
本格利用は検討中です。

6. 市内すべての小・中学校(32校)で2学期制を完全実施。
7. 掛川市の救急医療体制の見直し。(今のところ混乱なし)
8. 大倉助役退任、助役は空席のまま。佐藤教育長も退任、後任は杉浦靖彦氏に。
9. 異動届や各種証明書の申請と受領が1か所で済む「総合窓口」市民課で開始。